

熊谷東中学校だより
第7号

東雲

令和2年11月25日発行

<学校教育目標>

志高く 心豊かな生徒
主体的に学び、考える生徒
たくましく生きる生徒

<目指す学校像>

生徒が「日本一だ」と誇りをもって
卒業することができる学校

4つの実践
○朝ごはんをしっかりと食べる。
○呼ばれたら「はい」と元気に返事をする。
○「ありがとう」「ごめんね」と言う。
○友だちをたたくそんなくする。

3減運動
減 テレビの時間を減らします。
減 ゲームの時間を減らします。
減 スマートフォン・携帯電話・パソコンに触れる時間を減らします。

スマホ使い方宣言
自分や周りの人の情報を守ります。
他人を傷つけない。
様々な危険から情報を守り、正確な判断をします。
インターネットにつながる機器にはフィルタリングを設定して使います。

学校に寄せられる声

～地域や保護者の方々の声からあらためて教育の不易を考える～

熊谷市立熊谷東中学校長 伊藤 幸男

先日、私宛に一通の手紙が届きました。かつて熊谷東中学校にお子様を通わせていらした学区内にお住いの女性の方からのものでした。お子様が部活動をはじめ様々な場面で3年間の学校生活を楽しんだこと、また、当時の諸先生方に熱心な指導を受けたことに対する感謝の言葉が3枚の便箋に丁寧に綴られていました。さらには、現在、このコロナ禍で中学校の先生方が大変な苦勞をされているのではないかとお氣遣いをしていただくとともに激励のお言葉も記していただきました。本当にありがたいことです。

その一方で、時には、地域の方々や保護者の皆様からお叱りや相談の連絡をいただくこともあります。お叱りの言葉は、日々の登下校の様子や部活動に関する内容が多いと思います。特に、学区が広範囲にわたる本校は、生徒の9割近くが自転車を利用しているため、「自転車が並進して道をつさいでいる」「信号待ちや道路横断の態度が悪い」「ヘルメットの着用をしていない生徒を見かける」等生徒の登下校の様子に関わることが目立ちます。車との接触など交通事故が頻繁に発生している状況を鑑みると、御指摘は当然であり、緊急事態であると学校も状況を重く受け止め、繰り返し指導しているところです。部活動では、部員の活動の様子から感じる不安や、対外試合に向かう際の移動時の状況を心配していただく意見が多いと思います。

また、相談事としては、スマートフォンをはじめ携帯電話に関わる内容が目立ちます。スマホや携帯電話の所有に関しては、熊谷東中学校では生徒に所持させない方向で保護者の皆様に入学期よりお願いしている訳ですが、LINEをはじめSNS上のトラブルに関しての担任への相談は増える一方です。個人のLINEグループの存在を把握したり、その内容を監督したりすることは学校の指導では限界があります。今の時代ですから機器の利用法や利用マナーについての指導は継続して行っていますが、SNS上のトラブルを未然に防ぐには、まず何よりも、ご家庭で、利用に関する保護者と生徒の約束ごと(ルール作り)の確認をお願いしたいと切に考えております。

「教育は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花を咲かせ、世間(社会)の教えで実を結ぶ」と言われてきました。学校・家庭・地域の連携協力による同一歩調で教育を進めていくことの大切さは、今も昔も変わるものではありません。それぞれが機能し、関わり合い支え合っていかなければ、芽を出すことも、花を咲かせることも、実を結ばせることもおぼつかなくなります。あらためて、教育の原点は「不易」であると思えます。

コロナ禍ではありますが、引き続きウィルス感染拡大防止へ十分な注意をしつつ、442名の熊谷東中学校の生徒が、安心して学業や運動に打ち込める学校生活を過ごせるよう、細心の注意を払いながら教育活動の展開を心がけてまいります。今後とも「家庭」「学校」「地域」の連携に関して、御支援、御協力をよろしくお願いいたします。



<制服検討委員会が発足しました。>

東中では、発足60周年に合わせ、令和4年4月からの新制服の導入に向け検討を始めました。生徒・保護者のみなさんからはアンケートを通して様々な意見をいただきました。以下に主なものを紹介します。

- 理想の制服・・・「清潔感・飽きがこない」「快適である」「活動的である」が多い。
- 新制服に求める機能・・・「洗える」「ストレッチ性」「水をはじく」が多い。
- 男女ともブレザーの希望が多く、女子のズボンを求める声、特に女子に多い。

こうした結果も参考に、よりよい制服の作成に向け委員会で協議してまいります。



熊谷東中歳時記（11月）

東雲祭が開催されました。

10月30日（金）に行われた東雲祭にはたくさんの保護者の方にお越しいただき、ありがとうございました。学年別開催やマウスシールド着用での歌唱などコロナウィルスへの対策の中での実施となり、ご迷惑をおかけしましたが、まずは無事に開催できたことに安心しています。

半年間歌うことができず、夏休み明けてからの練習開始の中、一生懸命練習を重ねてきました。特に、最後の1週間は学年を越えて歌い合いが行われるなど、東中の伝統を後輩に引き継ぐ貴重な機会となりました。また、3年生の歌声は、後輩のみなさんにもぜひ聞かせてあげたいと思いました。来年度は全学年で開催できることを願っています。

【指揮者賞】1年・田村くん、2年・杉浦くん、3年・新井さん

【伴走者賞】1年・小川さん、2年・八鍬さん、3年・田所くん



生徒会選挙が行われました

11月6日（金）に生徒会選挙が行われました。今年は全体で集まっての立ち合い演説会が開催できないことから、大型テレビを使った所信表明を聞いて選挙を行いました。選挙期間には、登校時のあいさつ運動や給食時の責任者による候補者紹介などの活動がありました。そうした活動から、新生徒会の熱意が伝わり、とても頼もしく感じています。1年間よろしく願います。以下に新生徒会役員を紹介します。

会長・・・2年・多田くん

副会長・・・2年・小島さん、1年・岡部くん

役員・・・2年・大島くん、2年・野村くん

2年・湯田さん、1年・岡部さん

1年・中丸さん、1年・三根さん

合わせて行われたゆるきゃら総選挙では、各クラスから1体ずつ、全部で12体の候補があがりました。決選投票までもつれ込みましたが、「べにくま」が本校のゆるキャラに選ばれました。長く愛されるキャラクターとして、学校の内外で宣伝部長としての活躍を期待したいと思います。

ムサシトミヨ越夏調査を実施しました

11月16日（月）に今年度のムサシトミヨの生息数の調査を行いました。当日は、熊谷市役所やさいたま水族館、ムサシトミヨ保護センターの方々に協力いただき、東中からは環境委員に有志を含めた45名が参加しました。

今年度は74匹と昨年度から生息数が半減してしまいました。昨年度のアドバイスにより、落ち葉や外敵・ザリガニの除去に力を入れましたが、夏の長雨により水草の生育が不良だったことや、すじエビの大量発生による卵の乱獲が原因のようです。自然相手では一筋縄ではいかないことがわかります。こうした知見を生かし、来年度はさらに多くの繁殖に結び付けられればと思います。



熊谷東中キャラクター
べにくま



教育相談お世話になりました

11月9日（月）から行われた教育相談では、大変お世話になりました。短い時間の中ではありますが、進路や学習、生活や人間関係などについて家庭と学校で情報を共有できました。今後も東中では一人一人を大切にすることを進めてまいりますので、困ったことや質問等があるときは、ご連絡ください。子供たちのよりよい将来のために一緒に考えていければと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。